2025 年度　授業コード：23109800

授業科目	＊疾病診断治療学Ⅱ					実務家教員担当科目	○		
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期		
担当教員	髙﨑　智子								
授業概要	実務家教員として、長年病院に勤務した医師としての臨床経験を活かし、授業を行う。 疾病診断治療学Ⅰに続き、高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム、内分泌・代謝疾患、感染症などの代表的疾患について、その成因、症状、診断、治療（食事療法を含む）を学ぶ。また、生活習慣病における疾病予防の考え方や、高齢化社会において健康寿命を延ばすための栄養学的知識について解説する。食物や栄養との関連を理解し、医療チームの一員としての管理栄養士に必要とされる医学知識および考え方の修得を目標とする。								
授業形態	対面授業				授業方法				

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1.　疾病診断治療学Ⅰにおいて学んだ基礎知識を基に、各疾患の病因・病態を系統的に理解し、説明できる。（DP1-2、DP2-1） 2.　各疾患におけるガイドラインや EBM に基づいた診断・治療法を説明できる。（DP1-2、DP2-1） 3.　各疾患の身体所見・検査所見・食事療法を含めた治療法を説明できる。（DP1-2、DP2-1）
理想的レベル	標準的レベル 1～3 をすべて達成した上で、 4.　栄養学の専門家として、他の保健・医療従事者と連携・協働する方法を説明できる。（DP3-1、DP4-2）

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80	
小テスト	10	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	10	授業に主体的に参加する、疑問点を質問する、などの授業態度

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NT21207J

学習課題（予習・復習）	1 回の目安時間（時間）
復習：配布したプリントおよび小テストの内容を整理し、理解する。	4

授業計画	
第 1 回	テーマ：生活習慣病 メタボリックシンドロームを中心に生活習慣病の病因・病態について解説する。
第 2 回	テーマ：肥満・るいそう 肥満・るいそうの病因・病態について解説する。
第 3 回	テーマ：脂質異常症

	脂質異常症の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 4 回	テーマ：糖尿病１ 糖尿病の病因・病態・診断について解説する。
第 5 回	テーマ：糖尿病２ 糖尿病の治療・糖尿病性腎症等の合併症について解説する。
第 6 回	テーマ：代謝性疾患 高尿酸血症、ビタミン欠乏症、先天性代謝異常症の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 7 回	テーマ：内分泌疾患 甲状腺疾患等、内分泌疾患の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 8 回	テーマ：骨疾患 骨粗鬆症、くる病、骨軟化症等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 9 回	テーマ：血液疾患 貧血、白血病、凝固異常の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 10 回	テーマ：免疫・アレルギー疾患 食物アレルギーやアナフィラキシーショック、自己免疫疾患の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 11 回	テーマ：感染症１ 種々の感染症の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 12 回	テーマ：感染症２ 種々の感染症の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 13 回	テーマ：神経疾患 脳卒中、パーキンソン病等の病因・病態・診断・治療について解説する。
第 14 回	テーマ：高齢者の疾患 認知症、フレイル等の高齢者疾患について解説する。
第 15 回	テーマ：妊産婦の疾患・小児の疾患 妊産婦の貧血、糖尿病、高血圧等、および小児の肥満、糖尿病等について解説する。
テキスト	「栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第 3 版」　田中明、藤岡由夫 編　（羊土社） 「糖尿病治療ガイド」　日本糖尿病学会 編・著　（文光堂） 毎回、スライド内容をプリントして配付する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書： 「臨床医学　人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」　羽生大記、河手久弥 編　（南江堂） 「なるほどなっとく！病理学 plus」　小林正伸 著　（南山堂）
課題に対するフィ	毎回の授業終了時に実施する小テストは、採点の上、次回の授業時に返却し、解答例を提示して解説する。

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	疾病診断治療学Ⅱは、これまで学んできた解剖生理学、生化学、病理学、疾病診断治療学Ⅰを基に、管理栄養士として必要な臨床医学の知識を学ぶものである。したがって、これらの科目を理解しておくことが必要である。 以下の姿勢を持って、自ら学びを深めていただきたい。 １．授業で配布されたプリント資料に、大事な内容をメモし、ノートとして利用する。 ２．教科書やプリント資料からサブノートを作る。 ３．疑問点を図書館やインターネットで調べる。 ４．関連する国家試験問題を解いて知識を定着させる。